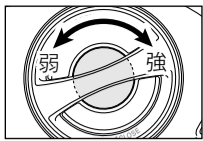


使用方法・リールの準備

※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

■メカニカルブレーキノブ

メカニカルブレーキは、スプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。



■Xドラグ

ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラグが締まります。



■ドラグの調整方法

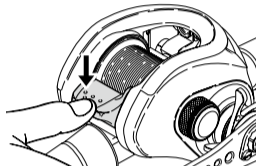
ドラグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラグの締め付けを調整してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。



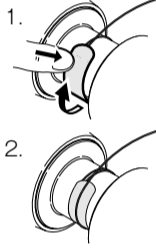
■クラッチ操作方法

親指でクラッチレバーを下に押すとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。



■スプールへの糸止め方法（糸を巻く時）

1. スプールにラインを結び、その結び目の上に市販のテープ等をピッタリと確実に貼ります。（指などで強く押してください。）
2. シールが確実に貼られていることを確認してラインを巻き込みます。（最初は少しゆっくりと巻くようにします。）
3. 特にPEラインは滑り易く、伸びがないのでナイロンラインなどよりも強いテンションをかけてきっちりと巻くことが必要です。

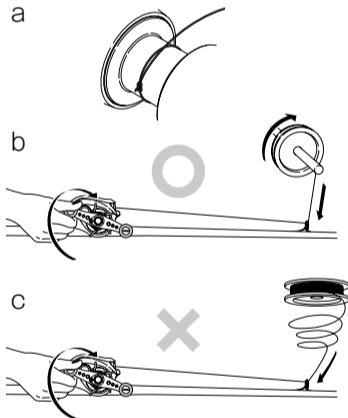


■スプールに糸を巻かれる時の注意点

PEラインを巻かれる際には、必ず滑り止めになる様な物をスプールに巻いてからご使用ください。そのまま巻かれますと、スプールに巻いた糸が空転し、糸が巻き取れなくなる可能性があります。

■糸の巻き方

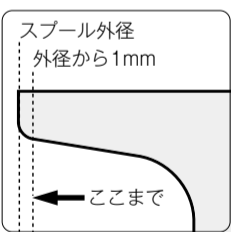
1. ドラグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。（図 a）
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。（図 b）図 c のようにならないようご注意ください。



尚、PEラインを巻かれる時は、事前にPEラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によってPEラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻

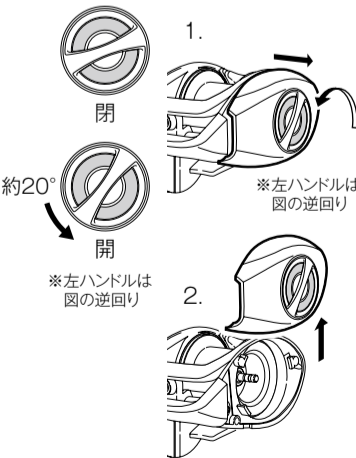
糸巻量はスプール外径から1mmの位置まで巻くことをおすすめします。



■スプール着脱方法

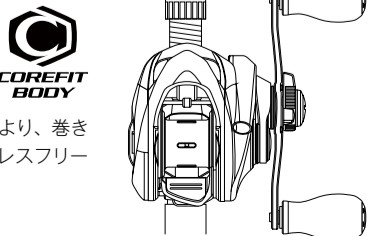
サイドプレート開閉ツマミを回転させて開閉が可能です。ご使用の際はカチッと音がするまで回転させ、確実に閉じている事をご確認ください。

1. サイドプレート開閉ツマミをカチッと音がするまで回転させます。
2. サイドプレートを取り外します。※サイドプレートを開いた状態で開口部を下に向けると、スプールが脱落し、変形する恐れがありますのでご注意ください。
3. サイドプレートは、本体から完全に切り離されるため、落下による破損や紛失にご注意願います。



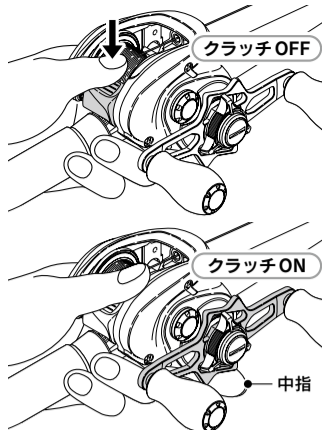
■コアフィットボディ

リールとロッドが一体化。ハンドル位置をロッドに近づけ、センターバランス化を実現。この機構により、巻きプレをおさえ、アクティブかつストレスフリーな釣りが可能になりました。



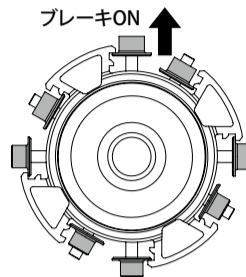
■S-タービンハンドル

新設計のハンドルにより、今までのカワハギリールでは成しえなかった、スプールサミングしながら片手でクラッチON操作と、糸ふけ時のチョイ巻きが可能に。これにより、バックラッシュの心配がありません。



■軽量SVS

軽量ブレーキカラー（M：レッド）を採用し、8段階の微調整が可能になっています。イラストのように、外側と内側のストッパー間にブレーキカラーを押し上げれば“ON”となり、内側のストッパー下に押し下げれば“OFF”となり、また外側のストッパーから押し出せば交換が可能となります。初期設定はブレーキカラーMが4個ONとなっています。まずは、全てのブレーキカラーをONにし、徐々にONの数を減らしてセッティングし、お好みのブレーキ設定をお探しください。



※SVS = SHIMANO VARIABLE BRAKE SYSTEM シマノ バリアブル ブレーキ システム

●軽量SVSご使用上の注意

- ・注油について
ブレーキ性能を長期間持続させるため、釣行後はブレーキパイプの汚れを拭き取り、付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレー SP-013A をブレーキパイプに1滴注油してください。注油により各部品の摩擦を防止し、より心地よいキャストフィールで使用できます。注油の頻度は釣行5回に1度、もしくは以前の釣行から1ヶ月以上ある場合に一度を目安にしてください。
- ・ブレーキセッティング時のご注意
超小型ブレーキカラーとなっておりますので、操作時のはずれ、傾きにご注意ください。SVSユニット破損の原因となります。

■キャスト方法の注意点

船・オフショアモデルのため、アンダーキャスト（下投げ）を推奨いたします。

⚠️

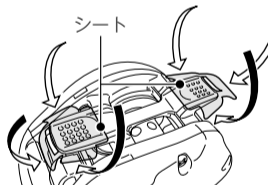
※本製品は、ロングハンドルを搭載していることにより、キャスト時のクラッチ返りが起こりやすくなっておりますので、十分にご注意ください。

※キャスト時のクラッチ返りは、車でいえばクラッチを切らずにギアをつなぐ様なもの。最悪ギヤの破損の恐れもあります。絶対にお避けください。

※キャスト中にハンドルでクラッチを返さないでください。ギアの破損につながる恐れがあります。オモリやルアーが着水してからクラッチを返してください。

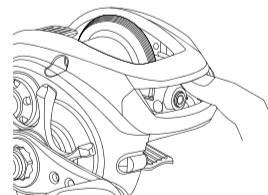
■リール脚保護シートの使用方法

このリールを装着する竿のリールシートが金属製の場合、付属のリール脚保護シートを装着していただくことをおすすめします。リールシートとの干渉による特殊表面処理層の損傷を和らげ、耐蝕性を維持する効果があります。



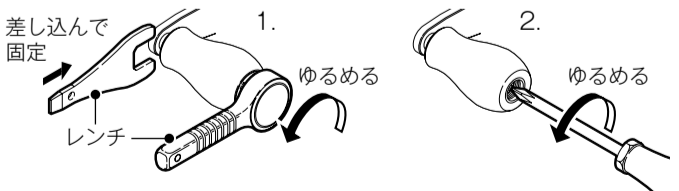
■セーフティレベルwind機構

レベルwind部に安全機構を採用。トルクリミッタ機能により、万が一、指がはさまれたときも安心。また、異物が噛み込んだ場合の破損防止にも繋がる安全設計です。※作動時はカチッカチツとした作動音がなります。安全機構ですので、意図的に動作させないようにしてください。



■ハンドルノブの取り外し方

1. 付属のハンドルノブレンチ2種を下図のように使用し、四角形のハンドル軸を固定してハンドルノブキャップをゆるめて取り外します。
2. ノブ内部のボルトをゆるめて外します。



■夢屋パーツ取り付け可能

《夢屋タイプ》

ハンドルノブ
A

※詳細はシマノホームページにてご確認ください。

お手入れ方法

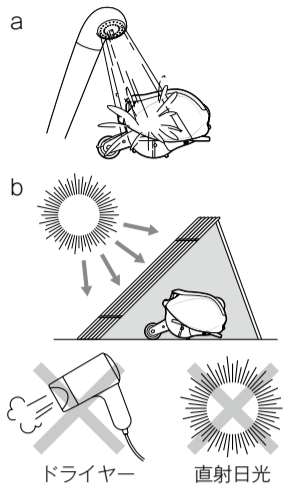
特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

① 必ず竿から外してください。

使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例えば、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

② 水洗いしてください。

ドラグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1～2分間水洗いしてください。（図 a）スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくことさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールのフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。※温水はグリスを洗い流す可能性があるのをお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。（図 b）※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は1日に1度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

④ 注油してください。

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

SP-003H（メンテスプレーセット）	¥1,900
SP-013A（オイルスプレー）	¥1,050
SP-023A（グリススプレー）	¥1,100
SP-015L（ザルスリールオイルスプレー）	¥1,500

※最寄りの販売店にてお買い求めください。上記は2016年4月現在の品番及び税抜本体価格です。

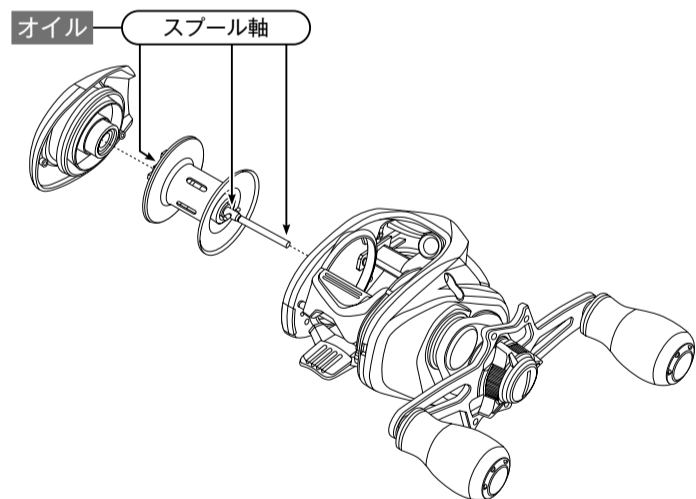
《注油上のご注意》

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

図の注油箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールオイルスプレーをまぢがえないように噴霧してください。（シマノ以外のオイルは使用しないでください。）オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

●注油箇所



⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

Stephano
100XG
101XG